※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰb	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	最新　数学Ⅰ　改訂版（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用のノートを用意すること。ただ単に板書事項を写すだけでなく、問題を解いたとき、途中経過もできるだけ書くようにすること。
・答え合わせの際は、正しい答えを書くだけでなく、自分がどこでつまずいたかを分析すること。
・授業中、わからないことがあればその都度、教員に積極的に聞くようにすること。
・定期考査前は対策プリントを渡すので繰り返し練習をすること。

２　学習の到達目標

・高校数学として身につけてほしい基本的計算や、関数や三角比など新しい知識を理解し、理系科目を学ぶ上で必要となる知識技能を身につける。後期、数学Ⅰb においては三角比や集合・命題、データの分析についての知識を身につけ理解することをめざす。
・三角比、集合・命題、データの分析などの知識を活用し、論理的に考察する力の基礎を身につける。
・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	三角比、データの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	三角比、データの分析における事象を数学的に表現したり、思考の過程を振り返ることによって多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	三角比、データの分析を論理や体系に関心をもつとともに、数学の良さを認識し、事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間考査まで	三角比	・鋭角の三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・三角比が与えられたときの角 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積 ・図形の軽量	a:　三平方の定理・三角比の定義など基礎的な内容を理解し、図形の問題等に利用できるようにしていく。 b:　三角比の定義より考えることのできる性質や定理を学び直角三角形以外の図形の問題にも取り組めるようにしていく。 c:　三角関数や工業系の授業にもつながっていく内容として、一過性のものにせずしっかりと自分の知識として身につける。	練習プリント 小テスト 定期考査	練習プリント 小テスト 定期考査	授業プリント 練習プリント 授業態度
後期期末考査まで	集合・命題・データの分析	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関 ・相関係数 ・仮説検定の考え方	a:データの代表値や範囲、四分位数、偏差、分散、標準偏差、相関係数の定義を理解し、それらを求めることができる。 b:データの散らばり具合や分布を比較することができる。散布図や相関係数から 2 つの変量の間の相関を考察することができる。 c:身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察しようとする。相関と因果関係について、興味・関心をもち、相関関係の大きさを数値化する方法を考察しようとする。身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする。	練習プリント 小テスト 定期考査	練習プリント 小テスト 定期考査	授業プリント 練習プリント 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度